

P8310776.JPGright_P8310776.JPGleft 2019/02/18
慶応四年七月朔日(一日)より同年七月七日まで

P8310776.JPGright

伴ひ来り過日金策²の□談を残し拾円を(持)遣す

七月

朔日子 朝雨乍止漸晴

休左衛門来る別事なし、松倉町須崎え快翁²□に行き香資(*)を投す

二日丑 雨朝止漸晴

北村未亡人来る

三日寅 雨午前止、猶雲午下雷、夕前止 無記事

四日卯 雲終日巻舒

P8310776.JPGleft

妻儀番町礪川茶溪邸等へ行、何れも投品あり、北村未亡人頼家財の内請取に来る不面
須崎常手製のパン持来、札差頼金の儀に付、咄し□し、妻儀大助に送らせ話□□迄帰り来
る

同人一泊、家族人数書□より中差出様、御用人より達²□□□太郎²□□より廻状来る

五日辰 雨午前止、猶陰

大助に託し家族人数書差出方の儀頼遣す、休左衛門来る札差の儀による、須崎常来る

今願大助え託せし書面取直しの儀に付休左衛門来る、保三□運金の□金運□し来る、同人
共々児等を携て近辺え毛釣に行く、且晚餐を勧む

六日巳 雨終日 無記事

七日午 雨終日

*1:「香資(こうし)」は香典と同じ

*3: 巻舒(けんじょ)、雲が広がったり、集まったりすること

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。